

医療関係者、薬剤師の方への情報提供を目的として制作しています。

伝染性軟属腫専用保湿クリーム

# M-BF CREAM

殺菌効果の高い  
銀イオンを配合。



抗ウイルス効果を期待して開発された保湿クリームです



合同会社 3Aims(スリーアイムス)  
熊本市南区田井島2丁目1-14  
TEL 096-285-5101 FAX 096-285-1737

#### 事業内容

スキンケア関連商品の  
開発・製造・販売



## 水いぼ治療専用のクリーム剤です

- ・強力な抗ウイルス作用のある銀イオンが主成分です
- ・痛くない治療としていかがでしょうか
- ・保険適応のある処方薬ではないので自費購入となります

M-BF CREAM



## M-BF CREAM

(保湿クリーム)

殺菌効果の高い銀イオンを配合

主要成分: 銀  
容量: 15g  
希望小売価格: 2,200円(税込)

# もう痛い治療とはさようなら！

当院では銀の強力な抗菌作用を利用した、全く痛みを伴わない、**塗るだけの水イボの治療**を開始しました。

治療前

治療中(2か月後)

治療後(3か月後)



治療中、中央の写真のように赤くなってきたら、効果が出てきたサイン。

治療前

治療後



## ■銀に関して

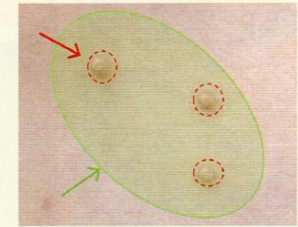
銀は抗生剤の10分の1以下の濃度で、ほとんど全ての細菌や真菌、更には一部のウイルスにまで効き、かつ副作用に関してもほとんど問題ない非常に理想的な抗菌作用のある物質と言えます。

治療の詳細は当院医師にご相談ください。

## 銀配合の液・クリーム・軟膏の使用方法

通常1日2回、朝と入浴後に以下の様に塗布します。

赤い円で囲んだところが水イボですが、水イボのウイルスは既に周囲に感染している可能性が高いので、水イボの部分だけでなく、**緑の円で囲んだ部分ぐらいまで広く塗布**すると効果的です。



## ■治療後の経過に関して

銀を塗布後、最短で2週間、通常2ヶ月前後で塗布した水イボの所だけが赤くなつてきますが(それ以外の部位は塗ってもなら変化がありません)、それが効果が出始めたサインです。赤くなってきたらそれから1ヶ月前後で徐々に消えてきます。

この赤くなる状態になるまで(効果が出てくるまで)の時間は、水イボのウイルスに対するその人の免疫反応が大きく関与しますので、個人差があります。

一般的には治療開始後、平均2~3ヶ月程度で水イボが治ると報告されています。

## ■注意点

\* 治る過程で炎症が強い部位は、赤味が強く、**かぶれた様に見えたり**、時には浸出液(汁)が出て**化膿している様に見えたり**する場合があります(銀は感染を予防します)、免疫反応が強く働いているためですので、そのまま使い続けてください。それは治る前の反応ですので、かゆみが強い場合には、かゆみ止めやステロイド軟膏を併用されても問題ありません。

\* 銀は紫外線に弱く、直射日光が当たると短時間で効果がなくなってしまいます。直射日光が当たる腕や足など衣服で覆えない部位には、夜のみ塗布してください。

\* 銀の特性上、紫外線や空気中の物質と反応し、若干変色する箇所が出る場合がありますが、効果や安全性には原則問題ありませんので、安心してお使いください。直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

---

## 銀配合クリームに対するQ&A

---

### Q:銀配合クリームの効果判定は？

A:治療開始後平均約2カ月で丘疹が赤くなってきます（BOTE Sign）。それは効果が出始めたサインです。通常それから1から2カ月で消退します。

### Q:治療後あまり変化がない場合はいつまで使い続けるのですか？

A:丘疹が赤くなってきたら効果があるサインですので、そのまま使い続けてください。全く変化がない場合でも、最低3カ月は使い続けてください。伝染性軟属腫に対する免疫反応が起こるまでには個人差がありますので、時間がかかる場合があります。自験例では丘疹が赤くなるまで8カ月かかった症例もありました。6カ月経っても何の変化もない場合は、他の方法に切り替えたほうが良いかもしれません。

### Q:銀配合クリームの安全性は？

A:試用症例が数千例を越していますが、重篤な副作用は未だ報告がありません。数例報告がありますが、接触皮膚炎や塗布部位のかゆみなど軽微なものばかりです。

### Q:銀配合クリームの使い方は？

A:伝染性軟属腫の小丘疹に1日2回塗布してください。

### Q:外陰部にも使えますか？

A:原則粘膜でも問題ありません。

### Q:ゲーベンクリームとはどう違うのですか？

A:ゲーベンクリームは1%スルファジアジン銀クリームで、硝酸銀の様にあくまでも銀の化合物で副作用の点で色々問題があるのはご承知でしょう。その副作用など有害作用のためクリーム中の銀イオンの含有量を上げる事ができません。銀配合クリームに配合した銀は化合物ではなく遊離した単体の銀イオンですので、副作用の問題が無くMIC（最小発育阻止濃度）をはるかに超えた高濃度までも配合可能です。なおゲーベンクリームには抗ウイルス作用に関して報告がありません。濃度は低すぎて効果が無いのではと考えられます。

### 銀イオン配合クリームに関する有害事象報告2（3Aims社内資料）

有害事象の報告は352症例中6症例(1.7%)で、重篤な副作用の報告はなかった。内訳は接触皮膚炎が2例(0.5%)、塗布部のかゆみが4例(1.1%)のみあった。